

◆学童保育指定管理者が交代 (吉武を除く) 南北エリア、ネットは反対

宗像市学童保育事業の平成30年4月からの4年間、指定管理者として南北エリアとも、新たに人材派遣会社のシダックス大新東ヒューマンサービス(\*)を、吉武小学童は吉武コミュニティ運営協議会を継続して選定。また赤間小学童は赤間コミュニティ運営協議会を、2年間の指定管理者とする提案が市からありました。(南北エリアは、賛成多数で可決されました。)

●南北エリア、選考の経緯説明が不十分!

今回も南北エリア別に公募し、各々3者と4者から応募がありました。選考委員会では、指導員の配置に不足がなかったこと、提案価格が最安値だったことが評価され、シダックス(株)が最高点で選定されました。

議会で、指導員の配置が基準以上で価格が安いこと等質問しましたが、担当課から納得できる説明がなかったため 反対しました。



●市の姿勢に問題あり

選定委員会が選定しても、最終判断は市です。指定管理者制度はどうしても経営的観点から価格が重視されがちです。

しかし、学童保育は放課後の子どもたちの生活の場であり、保育の質が重要です。指導員の確保には、給与や勤務時間等の見直し要望もあります。それに対して、担当課が責任を持って事業を進めているとは思えませんでした。

●指定管理者の交代を円滑に

7年前学童保育事業者が交代した時、年度始めに様々なトラブルがありました。そのことを踏まえ公募、非公募に関わらず、円滑に移行し、運営できるように 市はしっかり準備をし、支援することを要望します。

◆指定管理者制度とは?

公の施設の管理・運営に民間の能力を活用し、市民サービスの向上と経費削減を図るものです。

.....✿.....✿.....

(\*)シダックス大新東ヒューマンサービスは、数年前から児童館や学童保育の指定管理、業務委託で運営。福岡県では久山町で学童を3年前から受託。

●2つのコミュニティ運営協議会の指定には賛成

吉武小学童は3年前からコミュニティが運営しており、児童や保護者に好評で、地域とも信頼関係があり安定した運営なので継続に賛成しました。

赤間小学童保育は、来年度から新たに赤間コミュニティが事業を開始します。登録児童数も約180人と多いので丁寧な引き継ぎが求められます。安定して運営できるように市には、伴走型の支援をしてほしいと思います。

平成28年度

意見を付けて

決算に賛成しました!

<普通会計> 歳入 340億 565万円  
歳出 332億 4336万円

問題と考えること

○市民の暮らしを優先に

世界遺産登録に関係した事業費や、市外に向けたイベントの費用が目立った。市民が安心して暮らし続けられるように、福祉・教育・環境など市民の暮らしに密着した事業に優先して使われるべきだと考えます。

○真の市民参画を

積極的に情報を公開し、ともに考えていく姿勢を持つことが重要だと思います。

評価できること

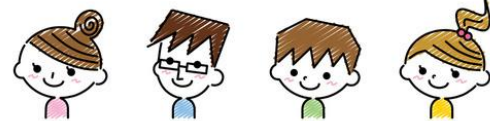
○産前産後の支援体制の強化。

○通級教室が日の里西小に設置された。

どの学校にいても同じ教育が受けられることが望ましい。通級教室が各学校に設置されるか、通級指導教室の巡回指導を要望しました。

○スクールソーシャルワーカーを1名小学校に配置。

問題を抱える子どもの相談・指導の充実につながると評価できますが、まだ十分とは言えない。さらに増員を要望しました。



◆竹林の浸食を防ぎ里山の再生を

森林は、空気の清浄化、温暖化の防止、土砂崩れの防止等重要な役割がありますが、今、森林の荒廃が全国的に問題になっています。特に、竹林の侵食・拡大による荒れた里山は、宗像市でも目に付きます。水源の保全や災害防止の観点からも対策が必要だと考え、質問しました。

市のこれまでの取り組みは、県の森林環境税によるスギ林・ヒノキ林の整備が中心で、荒竹林対策はあまり進んでいないことがわかりました。

そこで、竹林対策と里山再生は、市の重要な課題であることを市民に知らせること、市が竹を資源として利用する方法の調査と放置竹林対策を進めることを要望しました。(糸島市などの事例を紹介)

回答 市の竹林も拡大傾向にあり、市民への啓発は重要。昨年より県の対策会議に参画し、情報交換をしている。竹の対策は伐採、搬出・搬入のコストと労力が大きいことが課題。竹チップや竹パウダー等の利用の調査と共に地権者の理解を得て、NPO、市民ボランティア、竹の事業者を含め取り組みを検討していきたい。

竹林の伐採や里山を守る活動に長年取り組んでいる市民団体等とも連携を図り、支援の拡充を提案しました。

回答 市民団体にも期待している。まず、意見交換や情報交換を行って、何ができるか検討したい。



本市は現在、宗像市環境基本計画(第二次)を作成しています。パブリックコメントをする際は市民説明会の開催予定があるか質問しました。

回答 11月に市民を対象に「環境フォーラム」を開催するので、別に説明会は予定していない。

\*今回の環境フォーラムは、「温暖化対策」がテーマです。環境問題は市民の暮らしに密接に関係しています。基本計画全体についての説明会を開くよう



◆子連れでも利用しやすい施設を

市民から「7月に開館した大島交流館に行ったが、ベビーキープもベビーベッドも設置されておらず、子連れでは利用しにくかった。」と相談がありました。

宗像市の主な公共施設には、多目的トイレにおむつがえ用ベッドやベビーキープ、トイレにはベビーキープが設置されています。また授乳室も準備されるなど、子ども連れでも安心して利用することができるように配慮されています。

問大島交流館にはおむつがえベッドやベビーキープ、授乳室が設置されていませんでした。なぜ設置しなかったのか、改善する予定はありますか。

答予算の関係で設置できなかった。早急に設置するようにします。



以前、東部観光施設「赤馬館」が開館したときもベビーキープなどの設置がなく子連れでの利用がしにくいと声があがっていました。

利用者の立場になって公共施設をつくること、「標準仕様書」などを決めて、どの部署が担当しても子連れにやさしい施設になるようにすることを提案しました。